

授業科目	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法				単位	2		
履 修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	WE34106J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP5-2			
担当教員	大庭 正美							
授業概要	特別活動の教育課程上の特質と目標、内容、指導方法等に関する理解を深めるための講義を中心としつつ、歴史的変遷や今日的意義を踏まえ、各学校段階における具体的な取組事例等についての考察を行うことを通して実践的な指導力を身に付ける授業を行う。また、総合的な学習の時間の意義並びに学習指導要領における位置づけを理解するとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導計画の作成や評価の在り方についても学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	1.特別活動及び総合的な学習の時間の教育課程上の特質と目標、内容等について理解し、説明することができる。 2.特別活動及び総合的な学習の時間の内容や指導と評価のポイントについて説明することができる。 3.特別活動及び総合的な学習の時間の指導計画(学習指導案)作成のポイントについて理解し、説明することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	30	0	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	10		10		5		25	
知識・理解 (DP1-2)	20		10				30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10		10				20	
思考・判断 (DP2-2)	10						10	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	10				5		15	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
特別活動及び総合的な学習の時間の教育課程上の位置づけや特質・目標・内容等について深く理解し、各内容や指導と評価のポイントを的確に説明できるとともに、指導計画作成のポイントについて実際の指導場面を想定しながら具体的に説明することができる。				特別活動及び総合的な学習の時間の教育課程上の位置づけや特質・目標・内容等についての基礎的事項を理解し、各内容や指導と評価のポイントについて説明できるとともに、指導計画作成のポイントについて理解し、説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	特別活動の特質と教育的意義 特別活動の特質と教育的意義について考察する。	講義	当該部分の復習	60
2	特別活動の歴史と学習指導要領 特別活動の歴史的変遷や学習指導要領上の位置づけについて理解する。	講義	当該部分の復習	60
3	特別活動の内容及び各教科等との関連 特別活動の各内容について理解するとともに、内容相互や各教科等との関連について考察する。	講義	当該部分の復習	60
4	特別活動の指導計画 特別活動の全体計画や年間指導計画について理解するとともに、学習指導案作成のポイントについて考察する。	講義・演習	当該部分の復習	60
5	学級活動(合意形成)の指導 学級活動(1)の指導方法等について考察する。	講義	当該部分の復習	60
6	学級活動(意思決定)の指導 学級活動(2)(3)の指導方法等について考察する。	講義	当該部分の復習	60
7	学級活動の授業づくり 学習指導案を手掛かりに、具体的な学級活動の授業の在り方・進め方を考察する。	講義・演習	当該部分の復習	60
8	児童会(生徒会)活動・クラブ活動の指導 児童会(生徒会)活動並びにクラブ活動の指導方法等について考察する。	講義	当該部分の復習	60
9	学校行事の指導 学校行事の意義や指導方法等について考察する。	講義	当該部分の復習	60
10	特別活動と学級経営・生徒指導 特別活動と学級経営・生徒指導との関連について考察する。	講義	当該部分の復習	60
11	特別活動と道徳教育 特別活動と道徳教育との関連について考察する。	講義	当該部分の復習	60
12	総合的な学習の時間の意義と目標 総合的な学習の時間の意義と目標について考察する。	講義	当該部分の復習	60
13	総合的な学習の時間の指導計画 総合的な学習の時間の指導計画作成のポイント等について考察する。	講義・演習	当該部分の復習	60
14	総合的な学習の時間の指導と評価 総合的な学習の時間の指導と評価について、具体的な指導事例をもとに考察する。	講義	当該部分の復習	60
15	特別活動・総合的な学習の時間のまとめ これまでの学びを総括し、特別活動及び総合的な学習の時間の指導についてのまとめ(試験)を行う。	講義・試験	これまでの授業内容をまとめておく(予習)	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	小・中学校時代における特別活動の経験を振り返り、印象に残っていることなどを想起しておく。その上で、望ましい特別活動の指導のあり方はどうあればよいか自分なりの考えをまとめておく。 また、総合的な学習の時間での経験についても振り返り、その学習で何を学んだのか整理しておく。			
テキスト	特に指定しない。必要に応じてプリント等を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	文部科学省「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」平成29年3月告示 文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別活動編」平成29年6月 文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別活動編」平成29年7月 文部科学省「小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」平成29年6月 文部科学省「小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」平成29年7月 特別活動指導資料 「みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動」小学校編 平成31年 文部科学省発行			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	図書館や教育センター等で参考となる書籍、資料等を探して読むなど、特別活動と総合的な学習の時間への理解を積極的に深めて欲しいと思います。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験及びレポート等の内容については、授業の中で指示する。			

